



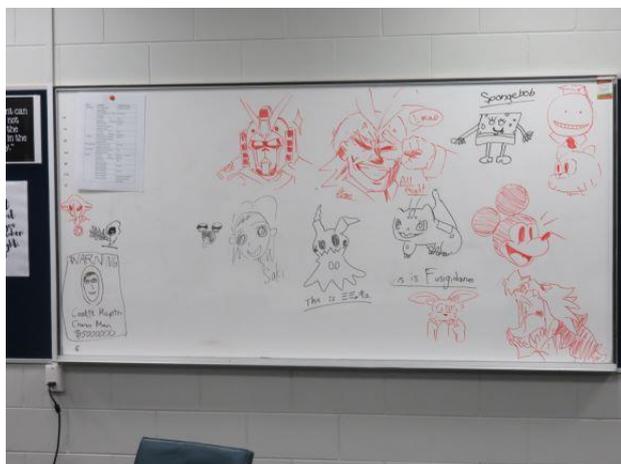
# オーストラリア直送レポート

**Vol.5** 2018.8.16 登校四日目

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課・井口  
吉備中学校・田中
- パーマストーン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課・松場  
八幡中学校・島田

## ドリップストーン校グループ

登校4日目を迎えました。登校するのは、今日を入れて、あと2日となりました。今日は一日、ワイルドライフパークというオーストラリアの動物がたくさんいる動物園で、見学をする予定です。朝、登校すると、いつもの研修生用の部屋に、昨日や一昨日と同様、研修生と現地の生徒が登校して来ていました。研修生たちは、日本とは違う生活のせいか、少し疲れた様子でした。しかし、数人の研修生は、現地の生徒と話をしたり、部屋の中にあるホワイトボードに絵を描いたりして過ごしていました。毎日、朝の空き時間や授業の合間、ホストファミリーが迎えに来るまでの時間に、ホワイトボードに絵を描いて、現地の生徒たちと交流をしています。初登校の日は、ホワイトボードには何も書かれていませんでしたが、日を重ねるごとに、ホワイトボードが、彼ら書いた絵で埋まってきました。言葉があまり通じなくても、様々な方法で、コミュニケーションを取ろうとしており、嬉しい気持ちになります。8時30分に始業のチャイムが鳴り、今日担当してくださる先生が、私たちを迎えにきてくれました。



現地の生徒たちと共にバスに乗り、約40分でワイルドライフパークに到着しました。到着後すぐに、バスに積んでいた果物とポテトチップスと水が配られ、軽食を取りました。こちらの学校では、昼食とは別に、授業の間の休憩の時でも、家から持ってきた果物などを食べる習慣があります。初日は「これお昼ご飯？」と聞く研修生が多かったのですが、その文化に慣れてきたのか、特に驚く様子は見せませんでした。ワイルドライフパークは、敷地が広い為、シャトルバスに乗って移動をしますが、シャトルバスがなかなか来ない時は、歩いて移動をします。バスや徒歩で移動しながら、ペリカンの餌やりや猛禽類ショーを見学しました。この動物園を楽しんでいた研修生が多く、カメラのバッテリーが無くなるほど、興味津々に見学をしていました。また、大きなヘビや、手の平ぐらいのサイズのカメにも実際に触ることができました。研修生たちは引率の先生に、英語を教わりながら、飼育員に質問をしていました。今までは、疑問があれば、不思議に思うだけでしたが、自らの力で解決しようとする姿に、研修生たちの成長を感じることができました。14時頃にバスに乗って、学校に戻りました。移動中は一日中、暑い中見学をしたせいか、研修生のほとんどが寝ていました。毎日、研修生の成長を感じますが、一方で疲れも感じられます。疲れの分だけ、自分で色んなことを考え、現地の生徒や先生、ホストファミリーとの会話で、相手の伝えたいことを必死に理解しようとしています。登校日は明日で最後となります。研修生たちにとって、悔いの無い研修になるように、私も必死にサポートしようと改めて思いました。(井口)

今日はワイルドライフパークに引率して下さった、ティム先生も他の先生と同じでお優しく、楽しい一日でした。吉備中学校の子たちが、少し行動が遅く、迷惑がかからないかと、ハラハラするのですが、いつも笑顔で待ってくれるティム先生でした。井口さんも、いつも優しくリードして下さることがありがたいです。今日はヘビ、トカゲなど、手で触れることができたのですが、特に女の子が嫌がることもなく、「触りたい」と群がっていました。説明だけの予定で見せてくれたカメも、「触りたい」とお願いし、触れさせてもらうなど、びっくりでした。一日、外での学習でしたから、少し疲れが見えましたが、私たちのために、一生懸命に尽くして下さる現地の先生やパティの生徒さんたちに感謝して、今日を終えました。みんな笑顔は元気です。(田中)



## パーマストン校・ローズベリー校グループ

今日はパーマストンカレッジ(7～9年生)に登校できる最後の日です。本年度より、ローズベリーミドルスクールとパーマストンシニアハイスクールは既存の校舎はそのままにして合併して新しくパーマストンカレッジとなりました。現地校に登校して交流する授業は2回目となるため研修生のみんなも前回よりは少し要領がつかめているように感じました。中には、「校外学習のほうが楽しい」などと言っている研修生もいました。3班に分かれて午前中は数学やリーディングの授業を受けました。授業ではたくさんの現地校生徒に囲まれ、早口の英語とオーストラリア式の授業スタイルの中で悪戦苦闘の時間が続きました。しかしリセスやランチタイムではリラックスした様子で食事をしたり現地校生徒たちと写真をとったり、プレゼントを渡している姿がありました。



午後は全員日本語クラスの授業を受けました。日本語クラスの生徒たちは他の生徒よりも更に優しく接してくれるように感じます。「こんにちは」「ありがとう」「よろしくお願いします」などと日本語を使ってコミュニケーションを取ってくれる生徒もいます。正規の先生とは別に、補助で日本人の先生も居り、日本語で通訳をしてくれるため、研修生も授業に参加しやすく、折り紙の折り方を教えてあげたり、得意なけん玉を披露したり、また英語書かれた日本に関する質問を一緒に考えながら解答したりなどのグループワーク形式の授業であるため飽きずに楽しめることができました。最後にメールアドレスの交換や記念写真を撮って授業を終えました。国や人種文化の違いはあってもお互いの共通点を接点として交流を深めていく現地校生徒と研修生たちの姿に微笑ましさを感じました。研修終盤を迎え、おそらくは研修生の疲れもピークに達しているかと想像しますが現地10日間と限られた時間で体験できることも限られます。研修生一人ひとりの目的や目標を再確認するような言葉がけをする中で、残された研修期間を有意義な時間とできるように引率の先生方と協力して最善のサポートを行いたいと思います。(松場)



今日は1日学校で過ごしました。学校で1日過ごすのはこの研修で2日目。こちらのタイムスケジュールも分かっているので初日よりずっとみんなの動きがスムーズでした。数学では一次関数を学びましたが、既に習っているところだったので何を答えればいいのかさえ分かれば皆スラスラと解いていました。木曜日の2限はリーディングの授業。すべてのクラスで行なっているようで読解力をつけるための授業だそうです。読解力を高めようとしているのは日本と同じなので、興味深かったです。それぞれ先生が本を選ぶそうで私の参加した教室では「ロードオブザリング」を読んでいました。日本の生徒たちも一生懸命先生が読む文に目を走らせていました。後半の授業はすべて日本語の授業。日本語のレイチェル先生の授業はすべてグループ活動。けん玉やアボリジニアートのパズルなど楽しみながらそれぞれの言葉や文化に触れられる工夫がなされていて、どの生徒も意欲的に授業に取り組むことができていました。最後に全員で写真を撮りました。メールアドレスを交換している生徒もいました。明日は学校生活が体験できる最後の日。名残惜しいですが、できるだけたくさんの交流をし、大切に過ごしてほしいものです。(島田)

